

# つながる力

《2026年度総会特別号》



## 第13回総会 5月31(日)~6月2日(火) 沖縄県名護市で開催

- 日 時…2026年5月31日(日) 13:30~17:30
- 会 場…名護市産業支援センター大会議室
- 宿泊先…ホテル デルフィーノ名護 (名護市大南1-5-14 0980-51-1717)



### 記念講演「ヤンバルの沖縄戦と辺野古新基地問題」

講師 **目取真俊**さん (芥川賞作家 ブログ・海なりの島-2主宰)

長期にわたる採石による自然環境破壊、およそ不可能な軟弱地盤の辺野古新基地建設の現場を抱え、日々闘う名護市・本部町の仲間の協力を得て、第13回総会を開催します。ぜひともお出かけください。

#### ◆ 総会行事日程 ◆

視察等の時刻は目安です。変更もありうるとご承知ください。

- 5月31日(日)
  - 07:30 ホテル出発 → 09:00 宮城島 → 12:00 辺野古ゲート前(昼食) → 安和棧橋 → 塩川港 → 17:30 ホテル着
  - 13:00~ 受付
  - 13:50~ 第13回総会
  - 15:00~ 総会記念講演会  
「ヤンバルの沖縄戦と辺野古新基地問題」  
講師：目取真俊さん
  - 18:00~ 夕食会
- 6月1日(月)
  - 宮城島・辺野古ゲート前・安和・塩川 抗議行動参加
- 6月2日(火) フィールドワーク
  - 八重岳米軍通信施設視察(オプションツアー)
  - 09:00 ホテル出発 → 14:30 ホテル着
- 沖縄県知事面談(交渉中)

第13回総会に参加される方は参加時に、同封の総会議案書を必ずご持参ください

#### 《 目 次 》

|                                    |                  |   |
|------------------------------------|------------------|---|
| 辺野古船舶転覆事故を受けて                      | 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会 | 2 |
| 八重瀬島ぐるみの会 沖本裕司さんの死去を悼む             |                  | 3 |
| いんぷおめいしょん オンライン学習会ほか 目取真俊さんのプロフィール |                  | 4 |

# 辺野古沖船舶転覆事故を受けて

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会

去る3月16日、辺野古沖の船舶転覆事故で、乗船していた高校生と船長の2人が亡くなる痛ましい事故が起きました。謹んで哀悼の意を表します。

「ヘリ基地反対協議会」は、「辺野古土砂搬出反対」の運動で、辺野古を守ろうと、ともに活動してきた市民団体です。私たちは今後、信頼回復と運動再構築への大きな努力が必要になります。これから私たちに何が出来るのか、事故原因究明などの推移を見守りつつ考えて参りたいと思います。

転覆事故について「ヘリ基地反対協議会」が4月2日、HP上に声明を発表しました。また3月25日にはJELF（日本環境法律家連盟）が緊急声明『辺野古・大浦湾の豊かな自然を次世代に引き継ぐための冷静な議論を求める』を発表しました。その一部も合わせてご紹介します。

## ◆ 4月2日、ヘリ基地反対協議会HP上に発表された声明

### 辺野古沖での船舶転覆事故に対する謝罪と対応について

2026.04.02

去る3月16日、辺野古沖での修学旅行の海上視察中に発生した船2隻の転覆事故により、乗船していた高校生と船長の2人が亡くなるという取り返しのつかない事態を招きました。

何よりもまず、亡くなられた高校生に心からお詫び申し上げます。平和を学び、命の尊さを知るための活動の場で、あろうことか私たちがその尊い命を守りきれなかったことに対し、深く重い責任を感じております。

家族を突然奪われたご遺族の皆様、被害にあわれた皆様、大切な友人を亡くされた高校生の皆様、多大なるご心労をおかけした学校関係者と保護者の皆様、ならびに関係各位に対し、筆舌に尽くしがたい悲しみを与えてしまいましたことを、深くお詫び申し上げます。

私たちは今回の事故の責任団体として、各機関による事故原因究明に全面協力するとともに、被害者の皆様及びご遺族への謝罪と償いに全力を注いでまいります。

事故原因について、私たちから発表できる段階になりましたら、改めてご報告させていただきます。

ヘリ基地反対協議会（HP：<https://lovehenoko.org>）

## ◆ 3月25日、JELF（日本環境法律家連盟）の緊急声明の一部

・・・絶対にあってはならない事故であり、人の生命を預かる以上、安全のために万全が期されるべきは当然であって、事故の原因、責任の所在が徹底的に解明され、再発防止策が講じられることは急務です。

私たちは、この痛ましい事故を利用して、辺野古における市民運動や平和教育を否定・抑圧しようとする動きに対し、断固として抗議します。事故の発生によって、辺野古における基地建設の是非を問うこと、及び、その自然環境を保全することの重要性が損なわれるものではありません。

事故によって、辺野古新基地建設に反対して粘り強く活動してきた沖縄県民のみならず、それを支援する日本、全世界の人々の活動の意義が失われるものではありません。・・・また、沖縄や辺野古の問題は、若い世代にとっても極めて重要な学びの場となるものです。

私たちは今回の痛ましい事故によって沖縄、日本、世界の辺野古新基地反対運動が後退することがあってはならないと考えます。また、不当な誹謗中傷に世論が巻き込まれ、問題の本質が見失われることを強く危惧しています。そのため、あえて本声明を発し、冷静で理性的な議論の継続を求めるものです。

# 八重瀬島ぐるみの会 沖本裕司さんのご逝去を悼みます

一昨年5月、辺野古土砂全協第11回総会をうるま市で開催した折、先の大戦末期の激戦地・沖縄南部の戦跡を巡る企画を、そして糸満・八重瀬の激戦地跡の視察を手配して頂くなど、沖本さんには大変ご協力を賜りました。余りにも急なご逝去の報に接し驚きを隠せません。そして悔やまれてなりません。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌



沖本裕司さん

沖本さんは、今年の1月21日に死去されました。79歳でした。今でもあの笑顔が浮かんでくる優しい方でした。3回の南京の訪問の内、今年と去年の2回私も参加しました。今年にはもう行かないかと奥さんの富貴子さんは反対したということです。それだけ病状が良くなかったのだと今にして思います。いつも優しい笑顔で話される沖本さんがまさか死を迎えるほどの厳しい状況だとは思いませんでした。南京の民間訪問が、日中関係の平和に重要な役割をしているのが、高市首相の「台湾有事が、存立危機事態になり得る」という内政干渉の発言が中国との関

## 南京に連れて行ってくれた 沖本裕司さんの死去

沖縄県民間教育研究所長 長堂登志子

係あつという間に厳しくなっていることわかりました。沖本さんたちの地道な努力で南京訪問ができていたのです。沖本さんの葬儀の時、富貴子さんが作成してくれた沖本さんの活動の記録の冊子を読みました。その内容は私がいかに沖本裕司さんを知らなかったのかと脳天を叩かれた思いともつと話を聞いておけば良かったという後悔で一杯です。(以下は冊子からの抜き書きです。)

沖本さんが大学時代に、沖縄を占領し、基地を好きにだけ勝手に造ってきた米軍政府に対して、首席公選で屋良朝苗さんが当選、投票率90%で、「本土復帰闘争」がいよいよ最高潮に向かつて行きました。労働運動も高揚して、教員の政治的権利の規制を強める教公二法に反対する教員が立法院(議会)を座り込んで包囲しました。今とは全く逆で、教員が機動隊をゴボウ抜きしていくような、万単位の教員が取り巻きました。全軍労ストもあり、沖縄現地は米軍との闘争が極限まで高まっています。

沖繩に関心を持った沖本さんは1970年7月、大学在学中に沖繩に来ました。沖繩の闘いがどのようなものなのか、直接自分の目で見たいと思ったのです。鹿児島から船で36時間、船から島影が見えた時、不思議な感動を覚えたそうです。ところが渡航証明書では「観光」は3ヶ月でした。一度は更新したのですが、2回以降は手続きが面倒で更新しませんでした。そうすると「不法滞在」になります。もう決まっていますからそのまま「復帰」までいようと思ったのです。それが結局、今まで53年間、人生の大半を沖繩に費やしてしまいました。だから大学も卒業していません。

沖本さんが最も時間も労力もかけてきたのが辺野古新基地建設反対の取り組みです。2014年翁長知事が当選した選挙を契機に「オール沖縄会議」ができ、各地域に「島ぐるみ会議」が作られ、沖本さんの住む八重瀬町の島ぐるみ会議で活動をしてきました。辺野古や埋立土砂搬出の安和・塩川の現場に通いながら、地域で辺野古を止めるための行動もしてました。

同時にアジアにも目を向け、90年代後半に韓国民衆との交流が始まり、「沖繩・韓国民衆連帯」という団体が作られ、沖本さんもメンバーとなり、2001年から韓国語の勉強を始め、通訳案内士の資格もとり、韓国から来る人達の通訳もしていました。10年前からは東シナ海の平和キャンプです。最初に済州島、沖繩、台湾、石垣、4年前には金門島でもやりました。

地元のガマ(自然壕)で平和ガイドも長くやっています。沖縄戦で住民が隠れていたガマや日本軍の陣地になったガマ、病院壕になったガマなど南部にはたくさんガマがあります。全国から修学旅行で来る中学生や高校生にガマの暗闇を実際に体験してもらいながら、数百回沖繩戦の話をしてきました。まだまだ沖本さんの活動は伝えきれません。最後に石垣島のミサイル基地が進められていることに心を痛め、日米同盟に終止符を打つことが、近隣諸国との友好を築く唯一の道筋であると結んでいます。沖本さんまだまだ共に活動したかったです。安らかにお休みください。

出典：「おきなわ自治の風」第107号(2026年2月おきなわ住民自治研究所発行)

辺野古土砂全協は、第九条の会ヒロシマの要請に応え、1992年から続く「8.6 新聞意見広告」の賛同呼びかけ団体に名を連ねました。意見広告申込書を同封しています。ご協力をお願いします。



## インフォメーション



### ◆ 5月10日(日) 14:00~ **オンライン学習会** ZOOM 参加費: 1000円 **誰のための何のための「中国への戦争態勢」か**

— 人類史の大転換期にある世界、そして、辺野古 —

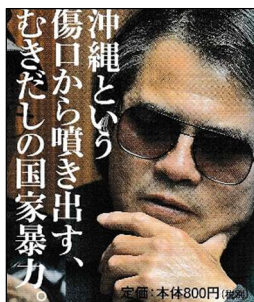
講師 **高井弘之** さん 「戦争止めよう! 沖縄・西日本ネットワーク」共同代表

申込先: 立田卓也 <090-8282-6077 tateda.dosyazen@gmail.com>

学習会にご参加下さい。申込先: 立田より ZOOM 招待アドレスをお知らせします。学習会参加費は、振替用紙通信欄に「学習会参加費」と明記し払い込み下さい。事前振込が原則ですが、後日でもOKです。

### ◆ 5月18(月)~19日(火) **第5回 塩川 デイ** ~ **みんなの力で工事を遅らせよう** 抗議時間 07:00~17:00

第13回総会記念講演講師: **目取真俊** さんプロフィール



1960年、沖縄県国頭郡今帰仁村生まれ。

沖縄の自然や風土、歴史に根ざした小説を発表している。1997年、「水滴」が第27回九州芸術祭文学賞、第117回芥川賞を受賞。2000年に『魂込め』が木山捷平文学賞と川端康成文学賞を受賞した。評論に「沖縄「戦後」ゼロ年」など。

ブログ「海鳴りの島-2」に日々の反基地活動の様

子をアップしている。

2025年8月7日、沖縄県警により24年10月から25年5月にかけてキャンプ・シュワブのフェンスなどを壊したとして、自宅を捜索されパソコンやスマホなどを押収された。

ブログ「海鳴りの島から-2」

<https://awamori777.hatenablog.com>

写真は角川新書、逸見庸さんとの対談「沖縄と国家」(2017年刊)表紙から

(ウィキペディアなどを参考に作成)

## 2026年度会費のお願い

会費 団体: 10,000円 個人: 3,000円

辺野古土砂全協は2015年の創立以来皆様のご支援ご協力に支えられ、活動を続けてきました。11年目に入りましたが、会の財政状況はひっ迫しています。2026年度団体・個人会費のお納めをお願いします。カンパ熱烈大歓迎です!

郵便振替口座 番号 01750-8-144158 名義 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会

《辺野古土砂搬出反対全国協議会ニュース つながる力26総会特別号》 2026年4月25日  
発行責任者…全国連絡協議会共同代表 阿部悦子(環瀬戸内海会議) hibi\_letsuko@yahoo.co.jp  
大谷正穂(山口のこえ) masahootani@gmail.com  
編集…松本 宣崇(環瀬戸内海会議) nmatchan@ms8.megaegg.ne.jp  
HP: URL…<http://dosyazenkyo.com/index.html> 「土砂全協」で検索して見てください  
事務局…〒700-0973 岡山市北区下中野318-114 松本方 Tel・fax 086-243-2927  
連絡先…〒794-0026 愛媛県今治市別宮町9-7-4 阿部悦子 Tel 090-3783-8332